

社会科学習指導案

日時：平成22年2月21日（月） 5校時
 児童：6年3組 男11名 女16名 計27名

[単元名]

「世界の人々とともに生きる」

[授業について]

本単元では、世界の子どもたちが置かれている厳しい現状を知ることを通し、その現状を改善し世界平和の実現に努力している国際連合の働きを理解し、日本もその活動に参加し、国際協力に貢献していることを学ぶことをねらいとしている。

本実践では、子どもたちが社会的事象を身近に感じることができるように、授業を構築していった。単元の構成では、第2次世界大戦前後の日本の食料状況についてつかむことを導入とした。現在、日本は食料が豊かな国となり、ユニセフの活動を支援する国となっている。しかし、戦後は食料不足や貧困に陥り、ユニセフなどの機関から脱脂粉乳や原綿などを支援してもらい復興した背景がある。導入で、食料状況を追っていく授業をすることで、当時の日本も、現在厳しい状況にある世界の子どもたちと同じであったということに気づき、ユニセフの活動などの国際協力を自分ごととしてとらえることができると考えた。

また、教材化にあたって地域の写真や新聞の記事・「札幌市民の戦争体験～平和に関する学習資料1～」や体験者からのお話を資料として活用した。児童は、「戦時中は食料が不足していた」という事実は知っている。しかし、実感が伴わないのが実情である。そこで、体験談を読み聞かせしたり、地域や身近な人からの話を聞いたりすることにより、具体的な心情に迫ることができ、状況を身近に感じることができるようにした。

[単元の目標]

- ・地球的な規模で起きている様々な問題について意欲的に調べ、自分のできることを考えようとしている。

【関心・意欲・態度】

- ・これからの平和な世界を築くために、自分たちに何ができるか判断し、適切に考えている。【思考・判断】

- ・平和な国際社会の実現に努力している国連の働きを、調査したり、地図や地球儀、資料を活用したりして調べている。【技能・表現】

- ・スポーツや演劇などの交流が、言葉や文化、習慣の違いを超えて相互に理解を深めていくために大切な働きをしていることがわかっている。【知識・理解】

【単元の構成】

①
本
時

戦中・戦後の日本の食料状況はどうだったのだろうか？

S19 S20 S26

食料不足 食料不足 食べ物に困らなくなってた

日本は戦中や戦後間もない頃は食料が不足していた。そして、戦後数年で、食べ物に困らない国に復興した。

どのようにして、日本は食料に困らない国になったのだろうか？



②

戦後、日本に食料を援助してくれた団体があるよ

国際連合 **脱脂粉乳や原綿など 約1300億円**

ユニセフなどの支援があったから、日本は復興することができた。今でも世界中の困っている子どもたちを支援している。

③

日本は食料で困らない豊かな国になったけれど、世界の国はどうだろうか？

貧困 未就学 病気

世界には、生活に困っている子どもたちがたくさんいる。日本の子どもたちと比べると全然違う。

④

ユニセフは、具体的にどのような活動をしているのだろうか？

命を守るユニセフ教育活動

世界中で、命を救う活動を行っている

⑤

どうして、教育に使われる募金が増えているのだろうか？

今の子どものため 未来大人になった時のため

未来に向けて

教育をすることで、子どもたちを自立させたいから

⑥

ユニセフの他には、どのような団体が活動しているのだろうか？

ユネスコ UNHCR NGO

世界中の人たちが協力し合って、困っている人たちを助ける活動をしている。

⑦



我が国は、どのような国際交流を行っているのだろうか？

異なった文化と伝統をもつ人同士が尊重し、理解し合うことが国際交流では大事。

<本時の目標>

写真や新聞資料から、終戦前後の食料状況について理解することができる。また、戦後日本が食料に困らない国になった理由について、自分なりの考えをもつことができる。

<本時の展開>

学習の流れ	教師のかかわり								
<p>昭和19年</p>  <p>公園までも畑にしなればならなかったんだ</p> <p>庭も軒端も畑に 自給自足の覚悟でやれ</p> <p>それほど、食べるものに困っていたんだ</p> <p>食料不足</p> <p>○山鼻国民学校に通っていた佐々木さんのVTR</p> <p>佐々木さん</p> <p>今の暮らしと比べると、とても貧しかった。戦争が終わってからのほうが、食べ物に困っていた。</p> <p>戦争が終わっても食料不足</p> <p>戦後の子どもたちは、どのような様子だったのだろうか？</p> <p>昭和20年</p> <p>いつもおなかをすかせていた</p> <p>勉強どころではなかった</p> <p>病気になって死んでしまう子もいた</p> <p>とてもやせていたと思う</p> <p>笑と歌を忘れた子供達 空腹を抱へて街をあてどなく彷徨 勉強も既以上の空</p> <p>12歳男子の平均身長</p> <table border="1"> <caption>12歳男子の平均身長</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>平均身長 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S 1 2</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>S 2 1</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>S 3 0</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table> <p>やっぱり戦後は数値が下がっている</p> <p>戦後の子どもたちは、食料不足で身長が伸びなかった</p> <p>どうして、9年間で平均身長が10cmも上がったのだろうか？</p> <p>国民の努力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが一生懸命働いたから ・給食がはじまったから  <p>他の国からの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料を援助してくれた ・アメリカが助けてくれた <p>食料に困らなくなった</p> <p>終戦前後は、食料が不足して苦しい状況だった。日本が食料に困らない国になったのは、何か理由がありそうだ。</p>	年	平均身長 (cm)	S 1 2	135	S 2 1	130	S 3 0	140	<p>○写真や新聞を提示することによって、当時の状況をつかませる。</p> <p>○畑を耕しているのは、子どもたちが多くことに注目させる。</p> <p>○戦争体験者のお話を聞くことによって、当時の状況を確認する。また、視点を戦後へと転換させていく。</p> <p>○資料「札幌市民の戦争体験」や教科書などから、当時の子どもの様子を考えさせる。</p> <p>○グラフをもとに、戦後の子どもたちの状況を確認し、どうして平均身長が伸びていったのかに目を向けさせる。</p> <p>○国民の努力と他の国からの支援という観点から意見をまとめていく。</p>
年	平均身長 (cm)								
S 1 2	135								
S 2 1	130								
S 3 0	140								